



参道狛犬研究会ニュース



1998年11月23日

第10号

発行 日本参道狛犬研究会

浦和市高砂2-4-6

市民文化センター

TEL 048(822)2548

FAX 048(822)6472

http://nanja.nbj.co.jp/komaken/

日本一の狛犬と言えば、岐阜県瑞浪市の陶器製と言われている。これは大川窯四代目羽柴与左衛門景度の美濃焼こま犬をモデルに、15トンの陶土・五千束の薪で延べ千人が二七三時間かけて焼き上げたという高さ3.3mのもので、「世界一の美濃焼のこま犬」と高らかに自慢している。

そののが、全長3.8m!! 驚くながれ、瑞浪より50cmも高いのだ。残波大獅子。しかも一九八六年の建立だ。と云う事は、美濃焼より4年も古い。



美濃焼こま犬 3.3 m



残波大獅子 3.8 m

でも沖繩はシーサーではないのか？確かにそうだし、しかし、シーサーとは、屋根に上がっているものを言う。シーサーも降ろした瞬間、立派な狛犬！しかもこれは、最初からここに置かれたに作られたから、正真正銘の狛犬。

とにかく狛犬なのだ。もうこの議論はいい！でも、これもいずれば破られるだろうね。それにしても、この狛犬のデカさ比べは虚しい。結局、狛犬のルーツスフィンクスに大きさは勝てないのだから。尚、これは落語好きの土地さんより円丈師匠に寄せられた報告を元にした。

日本一 デカイ狛犬発見！

狛犬紀行

〜狛犬伝説を秘めた箱根神社の狛犬〜

三宅稜威夫

箱根での同級会に便乗して三時間ほど狛犬めぐりを行なった。幸いにもタクシートの運転手さんが、珍客を大事にしてくれ、めつたに人がいかにない石造物のある所々を案内してくれた。石造工（大平台）・臥牛石台のある東光庵旧跡（芦之湯）・阿字ヶ池弁財天の狛犬・元箱根石仏群（蛇子）の石仏・諏訪神社の狛犬（宮城野）など興味がつきなかつた。日が暮れてもゴソゴソと動きまわる男どもに、同行した愚妻があきれはてていた。狛犬巡礼道は、松たけとりに似て人を夢中にするらしい。

さて、箱根は入り鉄砲に出おんなを厳しく取り締まった旧東海道の要所である。芦ノ湖畔にある箱根神社は奈良朝時代より開かれた山岳信仰の霊場で、関東総鎮守の格式を持つ。神殿狛犬一対・石造狛犬三対（木社を含む）・岩崎小弥太寄進の青銅唐獅子一基がある。拝殿前には石造狛犬は大型で人目をひく。苔むして一見古そうに見えるが昭和

10年建立とのこと、他のものも昭和狛犬だ。おもしろいのは社史に書かれている狛犬由来：古事記にある山彦に降伏した海彦が、山彦の宮殿守護神となりその子孫の隼人族が遠吠狛犬（う）する姿だといふ。そういえば、円丈師匠は隼人族の末裔といわれ、狛犬に化身するのかな、とフト円丈狛犬を想像した。

箱根は歴史が古いだけに、じっくり巡れば思わぬ発見があるかもしれない。



狛犬もお待ちしております

これは朝日エナ（朝日新聞の姉妹紙）に載っていた七五三向けの「シャル」神社「シャル」は初詣の時期等珍しくはないが、狛犬の写真をウェブで載せているのがうれしい。写真のキャプションは、母性愛に強く、やさしい子育ての狛犬（こまいぬ）もお待ちしております。実はこの狛犬、嘉永6年の江戸狛犬、私がごく個人的に認定した横浜市緑区のベスト狛犬です。いつ認定したのか？それは、今やマアの間では幻とまで言われている。狛犬の杜の前身である、別冊狛犬アラジン創刊号誌上に、その「この別冊狛犬アラジン」を円丈師匠へ送ったが、狛犬の杜の編集

七五三は長津田

全国でも数少ない女性の祈れる神社です。お子さまを連れて今後のご多幸をお祈り！
たくさんのおみやげ、記念！

◆諸祈願もお受け致し

神徳（ごりやく）高く、交通便

創建400年 **長津田王子神社** FAX 984-8246 長津田

例会報告

平成10年9月22日（火）於豊島区立勤労福祉会館

絵と文 吉野忠夫



新コーナー投稿募集！

この頃記事が真面目すぎるとお嘆きのあなたお待たせいたしました。あなたの作品が紙面を飾る。狛犬川柳大募集！！優秀作品は大きな文字で掲載します。当然あなたのお名前も。賞品は無いぞ！

狛犬編集室へすぐ送るべし！



一、今月の一枚
平成の江戸タイプ、足止め狛犬、台車に乗った大円丈師匠の自信作文久の首うぎキツネ等の中から、今月の一等賞は、宮様風帽子の優雅なギボシ狛犬で出品の吉野氏（写真下）に決定。

二、円丈の狛犬講座
今回のテーマは、四国の狛犬。水盤・鳥居のまぐらから狛犬のオンパレードへ。珍しい胸像狛犬も。四国狛犬の特徴は首の位置につきる。首が引込んでいて、アゴが無い。

三、新規参加者紹介
台風の中、愛知県岡崎市からの参加者も！

四、私の狛犬巡礼
久保田氏の3日間、43社を廻った報告。山田氏の古河市の狛犬大全集。

五、しん平のおしゃべりコーナー
引越して早速地元神社の狛犬に挨拶。さて、その後どうなつたか？原因不明の発熱からジャガーのオーナーになるまでの波瀾万丈の一席。結論は、地元の狛犬を大切に！

関東 2の石工「小林治兵衛を知ってつか？」

三遊亭円丈

前回「江戸でぶうちよの祖発見」で石工小林治兵衛を紹介したが、粕研会員の辻一嘉氏から治兵衛には四対の江戸期造立があるとお便りを頂いた。

ヒョウ？ウソ！だって関東の石工で江戸期の狛犬造立数は多くて三対

それ以上は鶴見の名工飯島吉六のみ。それが四対も彫つてしかも千葉市川市川原8-17で今も小林治兵衛石材工業有 0743-3157・2202として営業中とのコト。ガビーン！

そこで自分の資料をもつ一度見直したら、なんと治兵衛はキツネを含め狛犬が六対あった。それと明治期に一对の計七対あるのだ。うかつだった！ではなぜ、治兵衛に気付かなかつたのか？

その理由は 千葉の狛犬を全然整理してなかった！

治兵衛の作風が、一定してないので気づかなかつた。

一対は「治兵衛」を「台兵衛」と間違つてメモしてた。

もうバカバカ！この小林治兵衛こそ、江戸期造立数では吉六に次いで関東 2なのだ。千葉はまだ未整理だが、鷺沼 石工 音五郎が確か江戸期に何対か彫つてる筈！これは楽しみにしてた。

会員の皆さん！くれぐれも自分のデータを見落とさないように！それにメモは正確に取るように！では最後に治兵衛の狛犬リストを付けておきます。

治兵衛狛犬リスト			
大鷲神社	船橋市高谷 2-12 (末・羽黒神社)	小型江戸 50 c m	弘化 3 年 11 月吉日 (1846)
稲荷神社	市川市稲荷木(トナリ) 3-6-13	大型きつね	天保 3 年 2 月初午(1832)
白幡天神社	市川市菅野 1-15	江戸阿吽別	天保 6 年 9 月吉日 (1835)
塩焼豊受社	市川市本塩 3-6-13	江戸	天保 2 年(1831)
豊受神社	市川市本行徳 1-10	やや大型江戸でぶ	嘉永 6 年 12 月吉日 (1853)
豊田神社	東京都江戸川区東瑞江 2-13	江戸でぶっちょ大型	文久 3 年 11 月吉日 (1863)
新堀日枝神社	東京都江戸川区新堀 1-5	江戸大型	明治 9 年 3 月吉日 (1876)



撮影辻一嘉氏

卒論のテーマはズバリ「狛犬」！

大学の卒業論文に狛犬を書いている女性がいると知り、さうそく連絡を取りお話を伺いました。大手前女子大学文学部史学科(兵庫県西宮市)の堀木華子さんへのインタビューによるメール取材です。

「専攻は考古学です。ええ、確かに考古学と狛犬は結びつかないですね。『発掘』を連想してしまうからなのかもしれません。でも、モノを通して歴史を問うのが考古学ですから、



狛犬も人の手によって造られたモノとして扱うことができると思います。また、自分のやりたいテーマを好きなように研究させてくる教授が考古学の教授だった、ということもあります。」

小遣いで狛犬を(一)

田中邦博

狛犬を買うとなったら大事である。村や町内会単位、若しくは氏子中であらざるを知らず、個人で買うのには無理がある。そんな数十万から数百万円返す本物ではなくとも、骨董や古美術のお店でなら、数万円位のものもあるにはある。それでもまだ庶民には手が出ない。まして年金生活者や貧乏学生には尚更である。せめて数千円で買える狛犬はないものか。そんな狛犬中毒者の為に、今回はお小遣いで買える狛犬グッズを一寸捜してみた。

まず、神仏具と言えは稲荷町。上野から浅草方面に向かう。が、奉納

狛犬は意外と少ない。右手に一、二軒白い陶製の狛犬を見つけた。高さ十センチだが、形がデフォルメされていて可愛過ぎるのがやや難かも。大五千円。左手の小さなお店で空色の陶製の狛犬を見つけた。台付で十五センチ、江戸尾立のなかなか立派なものである。大五千円。大中小有り。

足を伸ばして浅草神社の奥のお稲荷さんへ。ここでは鉄砲狐という泥人形をお正月に売っている。対で千円前後だった。よく見かける陶製の奉納狐なら稲荷町や赤坂豊川稲荷など何処でも入手可能。これも対で千円前後から。(つづく)

興味神使録

第四回 狛犬の巻

狛犬情報は浦和の調神社のみ。これについては狛犬紀行(狛犬の杜7号)にて三宅氏よりの詳細な報告がありますので御参照下さい。従って今回は開店休業！追補版も予定

していますので、狛犬をご存知の方は是非ご連絡を！
次回は狛龍の巻です。狛龍情報目下募集中！狛蛇も同じく情報求む(田中邦博)

お知らせ

狛研会員募集中！ 年会費 3,000 円
例会 奇数月に開催
(例会参加費 1,500 円
会員でなくても参加出来ます)
研究会 偶数月に開催
詳しいお問い合わせは事務局まで
048(822)2548

狛犬の杜編集室

横浜市緑区寺山町 713-41
編集長 阿由葉郁夫
E-mail: ikuoa@a1.mbn.or.jp

レイアウト 山崎 衛

本紙はMacintoshで作られています。
ご意見・狛犬情報お待ちしております。

不許複製・不許転載・

乱筆狛犬探偵団

おかげさまで(?)我が横浜ベイスターズが優勝、日本一！さうそくあの有名になつた、ハナの大魔神社へも行って来ました。佐々木投手の右腕が力強く輝いていた。しかし、残念だったのは狛犬が無かつたこと。あそこまでの冗談には、是非ハナリボテでも狛犬を置いて欲しかつた。第5号のこの欄で書いた隣町の神社、大改築工事が終わり真新しい社殿が完成した。新しい木、新しい石の輝きの中で、昭和12年建立の江戸タイプ狛犬だけが、皇太子殿下御降誕記念、伊勢参拝講の文字と共にその歴史を伝えてくれている。参道狛犬は専門の研究者がほとんどおらず、専門書がほとんど無いことも面白さの一端だ。とは言うものの、参考文献は有るに越したことはない。狛研でも文献リスト作りプロジェクトがスタートした。日本石仏協会から季刊で出ている「日本の石仏」には時々狛犬に関する事が載っている。国会図書館に全バクナンバー(21年分有り)。21年分を調べるのはちよつと根性が必要でしたが、目的を持って調べるとそれなりに楽しめます。鐸木さんのHP掲示板への書き込みで、卒論に狛犬を書いている女子大生がいるのを知りビックリ！さうそく取材しました。旅行が趣味で麻婆豆腐が好きな方です。(阿)